



“Waste your money and you’re only out of money, but waste your time and you’ve lost a part of your life!” -Michael LeBoeuf

(お金を無駄に使ったら、あなたは無一文になるだけだ、
しかし、時間を無駄に使ったら、あなたは人生の一部を失うことになる！)

『豚インフルエンザ』(swine flu) と呼ばれているかと思いきや、あっと言う間に『新型インフルエンザ』と名前を変えたインフルエンザに関しての報道を見ていると、イソップ物語りの『狼と少年』の寓話を思い起こさせられます。マスメディアが、『オーイ！インフルエンザがやって来たぞ！』と叫んで、病気にかかったのではないかと疑われた人は、何かの犯罪を犯したかのように扱われ、そうではないと分ると、涙の記者会見。『病気を軽くみてよい』と言っているのではないのですが、『メキシコで何人発症！』等の報道を見る度に、それでは『普通に毎年流行っているインフルエンザに 何人の人が世界で罹っているのか私達は知っているのだろうか！』と疑問に思います。メキシコにも何度か訪れた事があるのですが、この発表された数字をどうやって取ったのだろうかと思わず不思議に思います。アメリカでさえ、日本の様に戸籍がないので正確な人口は分っていないのではと言われている国ですし、健康保険に入っていないで病院にかかれぬ人が沢山いる国なのでから 発表される数字はどうやって取ったのだろうか、首を傾げてしまいます。全ての国が現在の日本と同じではないのですから、『1』と言われて、日本で考える『1』とは限らないという事を 考える力がないことこそが、危険ではないかと思えます。

もうこれ以上の危機の煽り方は無いのではないかといった報道をしておいて、『国民のみなさんには、冷静な対応を！』というようなことを、新聞の隅っこに書かれていても、『何、これ？』といった反応しか出て来ません。本当に深刻事態が発生した時に、イソップ物語りの『狼と少年』の寓話の様にならない訓練こそが、本当は必要なことなのではないでしょうか。『例年のインフルエンザの発症例は何件で、重度は何だが、今回はそれに比べて何件で、重度は何』、といった比較調査に基づいた具体的な報道こそが必要であり、『それに対して、政府はこの様な対策をとっているのだから、国民のみなさんには、冷静な対応を！』と、なるべきところなのではないかと非常に感じます。今の状態では、右往左往しているだけの感じしかせず、不安を煽る為だけに報道しているのだろうか、としか思えません。

昔は『風邪かな？』で済ませていたことも、世界がグローバル化して来ると『新型インフルエンザだった！』となりかねない世界になって来ました。情報もグローバル化して取っていかないと とんだ落とし穴に落ちてしまいます。日本語だけの日本の情報だけではなく、少なくともグローバル語の英語の情報だけでも正確に取れて、その情報をしっかりと自分の頭脳で考えることが出来る脳力こそが ますます必要な時代がやって来たとひしひしと感じます。



注⇒変更⇒5月31日(日)…補習レッスンなし

-
- 6月14日(日)…2009年度第1回英語検定
- 6月22日(月)⇒6月27日(土)…2009年度第1回児童英語検定
- 6月28日(日)…補習レッスン

-
- 注⇒7月20日(月)…海の日レッスンあり
- 7月22日(水)⇒8月21日(金)…レギュラーレッスン休み：
- ☆ Summer Reading を 各生徒さんへ7月の初めにお送りします。
- ☆ 事務所オープン(10:00⇒18:00) 但し：土・日・旧盆休み
- 8月22日(土)⇒8月30日(日)…夏期集中レッスン

お詫びと変更のお知らせ

5月31日の補習レッスンは
申し訳ありませんが
キャンセルと
させていただきます。
お詫び申し上げます。

